

## **第6章 計画の推進に向けて**

**第1節 情報公開**

**第2節 各主体の自主的な取り組みと連携**

**第3節 継続的改善による推進**

## 第1節 情報公開

情報公開は、原則としてどの段階においても行えるようにします。亀岡市の環境の現状と目標に対する達成度、市の施策の実施状況、市民や事業所の取り組み状況なども、市のインターネットホームページや広報の紙面を活用して公開します。また、計画の推進段階において、市内の環境保全活動グループや団体の情報を検索できるシステムを整備し、市民の積極的な参加の手助けを行います。

## 第2節 各主体の自主的な取り組みと連携

### (1) 各主体の自主的な取り組み

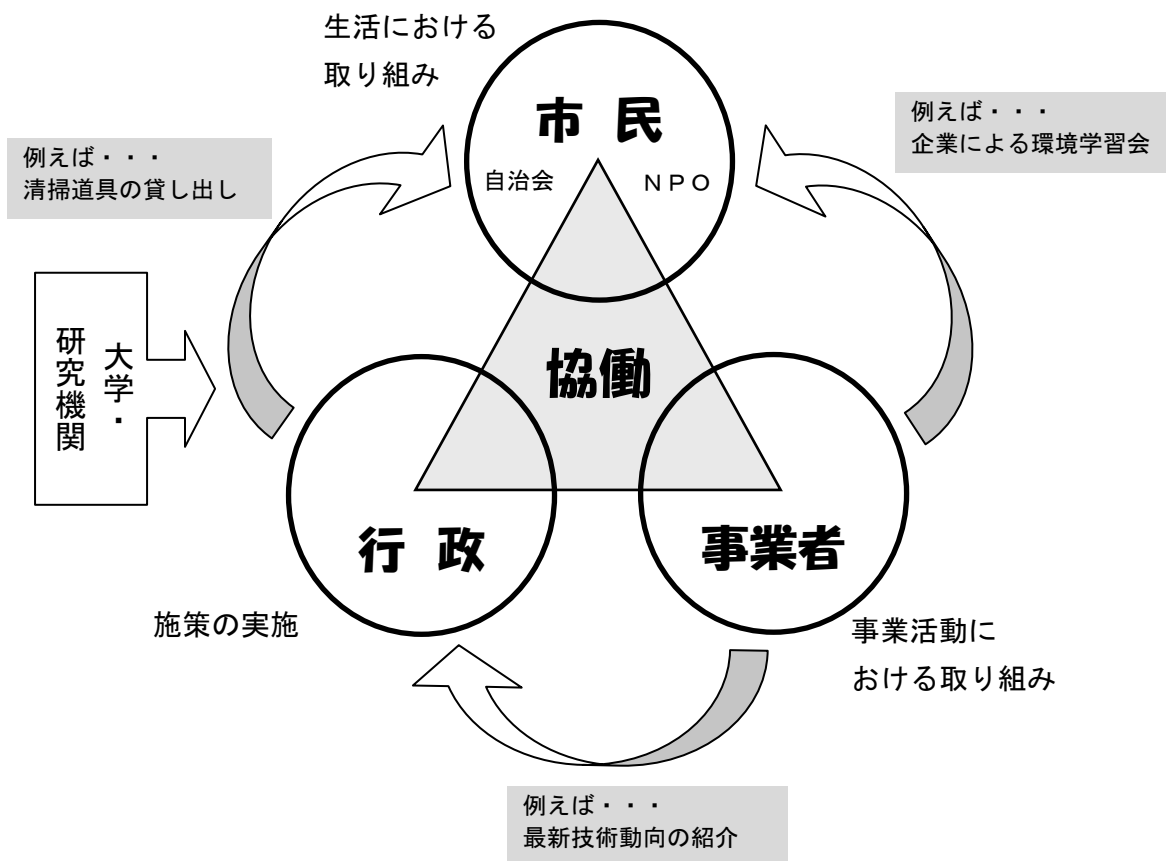
本計画の「第4章 施策の展開」では、各施策の目標を達成するために、行政、市民、事業者が取り組む内容を盛り込みました。これはいわば、目標年次までの行動計画です。

このため、各主体が自主的に、自分たちができる取り組みを推進していく必要があります。そうすることで、亀岡が将来にわたって、豊かな自然にかこまれた住みよい環境が維持されるのです。

### (2) 協働で進める環境まちづくり

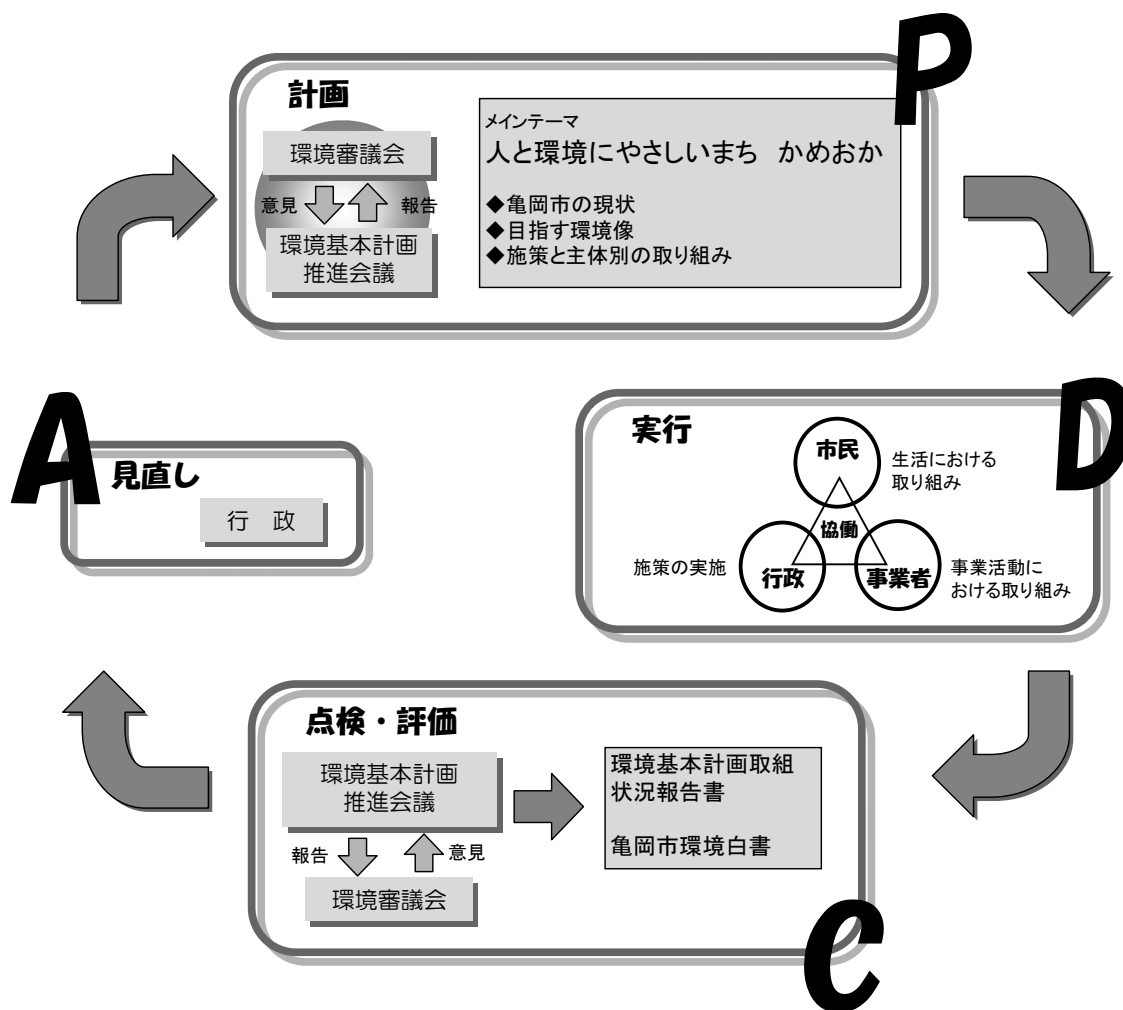
市民、事業者、行政の3者が協働することにより、環境施策の展開を目指し、地域及び事業所等における環境保全活動の推進に努めます。

環境は、自然、廃棄物、エネルギーなど極めて広い分野と関連しており、新しい知識や情報を適宜取り入れていくことが必要です。このため、市外、府外を含め、大学や関連研究機関、各地域で様々な問題に取り組んでいるNPO等との連携も図りながら、計画を推進します。



### 第3節 継続的改善による推進

本計画を確実に推進していくためには、各施策の取り組み状況を把握し、施策の実効性や目標の妥当性などを絶えず点検し、全体の進行状況を管理することが重要です。そのために、以下のPDCAサイクル※1を回し、計画を継続的に改善しながら推進します。



※1 PDCAサイクルとは、事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つです。Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）の段階を繰り返すことによって、継続的に改善します。